

令和6年度市町村トップセミナー開催報告

◆「地方創生成功のために～大阪の役割とは～」

実施日：令和6年10月9日（水）

講 師：中央大学法科大学院 教授／森・濱田松本法律事務所 客員弁護士

野村 修也 氏

10月9日、シティプラザ大阪にて、「地方創生成功のために～大阪の役割とは～」と題し、中央大学法科大学院教授で弁護士の野村 修也 氏にお越しいたゞき、令和6年度市町村トップセミナーを開催しました。

野村氏は初の民間官僚として金融庁参事に就任されて以来、現在まで国・地方で様々な公職を歴任されるとともに、テレビ出演や講演会などで日本全国をフィールドにご活躍され、長く大阪の移り変わりをみてこられたご経験から、当日は幅広い視点でお話いただきました。

ご講演では、現在の日本を取り巻く様々な課題（人口減少、財政、子どもの貧困など）の背景や、2025年大阪・関西万博はこれら諸課題に立ち向かう場所として定義されていることをご紹介いただきました。その上で、従来の営利事業と慈善事業の対立ではなく、「CSV：共通価値の創造」により社会課題の解決が新しい市場を創造し、新たなビジネスチャンスを生んでいること、世界中で「ESG投資」によって資金の流れが変わり、結果として企業のビジネスモデルも変化したことをご説明いただきました。

また、世界では社会課題が多数ある日本をビジネスチャンスの宝庫と見ており、海外企業による積極的な事業展開がなされる中で、ICTやAI等を活用しながら、社会課題を解決していく必要性をお話いただきました。

「新しい資本主義」や「SDGs」などのキーワードが一般的になった今、表面的な理解にとどまらず、どのような背景で語られているものなのかを考える大変有意義なセミナーとなりました。

ご登壇いただいた野村様、ご来場のみなさま、お忙しいところ誠にありがとうございました。



会場の様子



野村修也氏

第122回 マッセ・セミナー開催報告

◆お笑い芸人に学ぶ！ 豊かな人間関係を築くためのコミュニケーション術

実施日：令和6年10月2日（水）

講 師：放送作家・漫才作家 村瀬 健 氏

自治体職員は、すべての住民に公平で適切な行政サービスを提供し、また、不特定多数の住民の個別具体的な要望にも適正に対応しなければなりません。そのためには、業務に必要な知識だけでなく、マナーや高度なコミュニケーションスキルが求められます。一方、組織内においても、職員同士が積極的にコミュニケーションをとり、良好な人間関係を築き意思の疎通を図ることは、組織全体の生産性を向上させることにもつながります。



セミナーの様子

そこで、第122回マッセ・セミナーでは、放送作家・漫才作家の村瀬 健 様をお招きし、コミュニケーションの取り方や会話・対話の仕方、人間関係の構築やヒアリング力、伝え方など、コミュニケーションミスやトラブルを防ぎ、住民に信頼される職員・組織となるためのスキルについて、芸能界での事例も交えてお話いただきました。

今回の学びを、ぜひそれぞれの職場で活かしていただければと思います。

詳細はホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

